

## 令和4年春季滋賀県連合子牛共進会・せり市

令和4年3月8日、高島市今津町にある高島総合家畜市場で令和4年春季滋賀県連合子牛共進会・せり市が開催されました。出品頭数は、雌19頭、去勢27頭の合計46頭でした。

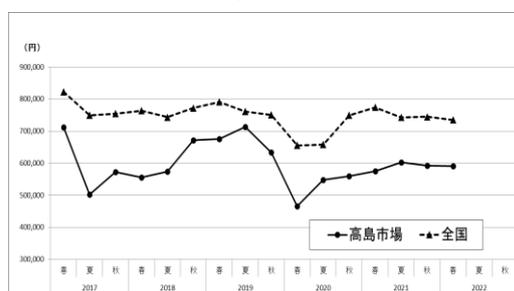


係留場所

午前中に開催された共進会において、最優秀賞に甲賀市、岡崎充志さん出品の「縁壱（よりいち）」が選ばれました。本牛は278日齢・体重285kg・体高117.6cm・胸囲155cmと大変発育良好で、体躯の幅・伸びとも充実しており、資質も大変優れた素晴らしい子牛でした。また、「おうみ」和牛繁殖協議会長賞に、近江八幡市、株式会社光之助かめい牧場出品の「光之助18」が選ばれました。

午後からは表彰式の後、せりが行われました。雌は最高745,000円・最低313,000円・平均価格538,500円、去勢は最高855,000円・最低336,000円・平均626,296円でした。

前回の市場（令和3年11月30日開催）と比較すると、雌および去勢の平均価格は雌で約2万円低く、去勢で約3万円高くなっています。また令和3年春季の市場と比較すると、雌で約2万円、去勢で約1万円高くなっています。



高島総合家畜市場子牛価格の推移

コロナ禍の影響による和牛子牛価格の低迷は、その後の枝肉価格の上昇に伴い、全国的に回復傾向を示していますが、高島市場では、コロナ禍前に開催された平成31年春季市場と比較すると、雌で約6万円、去勢で約9万円低くなっており、依然としてコロナ禍前の水準には戻っていません。

新型コロナウイルス感染症の今後の動向や、ロシアによるウクライナ侵攻の影響に伴う物価上昇など、引き続き肉牛農家の皆様にとって、先行きが不透明な状況が続くと予想されます。（藤井）